

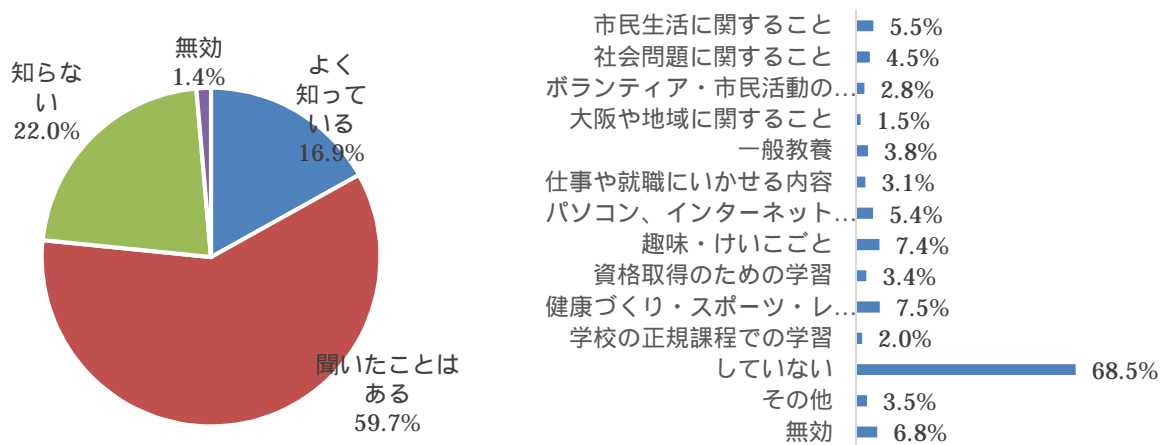
子育てとまなびを応援するまちづくり（社会教育の支援）

めざす状態

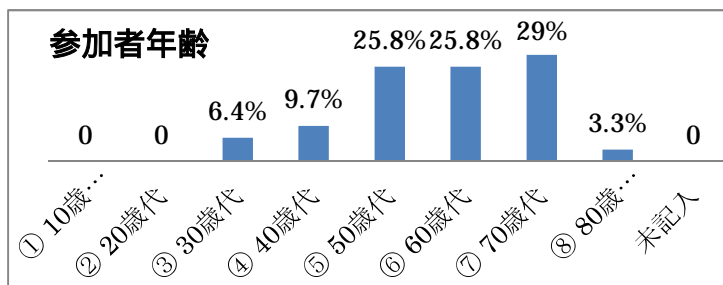
- ・あらゆる「まなびの場」が提供され、その成果が地域社会の活性化に活かされている社会。
- ・区民一人ひとりが自尊感情を大切にし、お互いを思いやり、支えあい、人権を尊重できる社会。

区の現状

- ・「生涯学習」をご存知ですか、という問いに関して、「よく知っている」区民の割合は、16.9%で、「聞いたことはある」区民の割合は、59.7%である。（29年度「第2回区民アンケート」より）
- ・現在、またはこの1年間のうちに、生涯学習活動をしたことがある区民の割合は、31.5%である。
- ・生涯学習活動をしていないと回答した区民の年齢は、40～59歳が多い。（29年度「第2回区民アンケート」より）



- ・人権イベントの参加について、10代から40代の参加者が、全体の16.1%と少ない。



- ・15歳未満の年少人口の割合が多い。

課題

- ・さまざまな学習機会を提供したり、まなびの場を知ってもらうことで、主体的に生涯学習活動に取り組む区民を増やす必要がある。（生涯学習の認知度アップ、人権啓発推進事業の若年層を中心としたアプローチ）
- ・学校・家庭・地域ぐるみで子どもを育てていく中で、核となる家庭を支援し、子どもの育ちを切れ目なく支えていく取り組みが必要である。

30年度具体的取組

- ・「人権に関するイベント」を開催（人権啓発推進員等との連携）
- ・「校下別人権学習会」を実施 12校下（人権啓発推進員との協働）
- ・生涯学習一日体験「学び舎つるみ」の実施（生涯学習推進員連絡会との協働）
- ・家庭教育支援講座の実施（区内施設や関係諸団体等との連携）

～これまでの取組の紹介・成果など～

・「人権に関するイベント」の開催

人権啓発推進セミナー、つるみヒューマンコンサート等

のべ参加者 280名（平成29年度11月末現在）

事業アンケート結果

人権に関する「気づき」があったと思う人の割合：67.8%



つるみヒューマンコンサート

・「校下別人権学習会」の実施

区内12校下で人権啓発推進員と連携し、人権に関する学習会を実施

のべ参加者数 306名（平成29年度11月末現在）

事業アンケート結果

人権に関する「気づき」があったと思う人の割合：83.7%



校下別人権学習会

・生涯学習一日体験「学び舎つるみ」の実施

生涯学習推進員連絡会と協働で、生涯学習一日体験「学び舎つるみ」を実施

参加者数 180名

事業アンケート結果

全体として良かったと思う人の割合：94.7%



学び舎つるみ

・「家庭教育支援講座」の実施（予定）

家庭教育を支援する講座のひとつとして、子どもと共に学ぶことを通して親子のコミュニケーションを深めるための家庭教育支援講座を実施予定。